

SoftBank

ソフトバンク株式会社

IBM Silver Business Partner

所在地 ▶▶ 東京都港区東新橋1-9-2
URL ▶▶ <https://www.softbank.jp/biz/ai/>
お問い合わせ先 ▶▶ <https://tm.softbank.jp/r/aicat/> (フォームよりお問合せください)

パートナー企業を繋ぐ協業の場 「AIエコシステムプログラム」

ソフトバンク株式会社(以下、ソフトバンク)は、IBM Watsonを活用したビジネスを拡大する場として「AIエコシステムプログラム」を運営しています。ソフトバンクは早くからAIビジネスの可能性に注目し、日本語版のIBM Watsonが誕生する前からIBMとパートナーシップを結びました。そしてAI市場を活性化させるために「AIエコシステムプログラム」を作り、技術開発をしたいテクニカルパートナーと、AIビジネスを行いたいビジネスパートナーが協業できるエコシステムを提供したのです。

当時「AIは万能」と思われており、世間の期待値が高すぎるという状況でした。そのため、汎用性のあるパッケージソリューションを作ろうという流れがスタートし、2017年、AIに特化した「AIビジネスフォーラム」を開催。「AIは実際何ができるのか」を45のパッケージによって「見える化」しました。パッケージソリューションを通してAIへの理解度を深めることで、企業は明確な目的を持ってAI導入を検討できるようになりました。また、エコシステムによって生まれたパートナー同士の繋がりが協業を生んでAI市場を構築し、日本国内でのAI活用を加速していくことになったのです。

自社内でも率先してAIを導入。 リアルな現場主義で事業推進を

ソフトバンクは今、「リアルな現場主義」が求められていると考えています。AI導入を推進する部署だけでなく、現場や

テクニカル部門も巻き込んで三位一体で事業を推進しなければ物事は進まない。これは、エコシステムを通じたパッケージの導入が進んだことで浮き彫りとなった次なる課題です。

ソフトバンク社内では現在、営業部門や人事部門などさまざまな部署で、業務を効率化するために、100ほどのAIを活用しています。実際に自分たちでAIソリューションを使うことで成熟させて製品化したり、さらに新しいニーズの掘り起こしに繋がったり、時には自社でなくエコシステム内のパートナーにソリューション開発を依頼することもあるといいます。このようにソフトバンクは、ユーザー目線の「リアルな現場主義」を体現しているのです。また、2018年には、アウトドアを通じて組織の活性化や働き方改革を支援するスノーピークビジネスソリューションズと「AI Design Workshop」という成功の質を高める、チームビルディングも重視したAI研修も提供開始。企業のAI導入と実践イメージへの理解を広める取り組みとして推進しています。このように、ソフトバンクのさまざまな取り組みは相乗効果を生みながらAI市場の創造と成長を促進しており、これからもさらなる市場の進化に寄与していくでしょう。



Outstanding Service or Solution Built and
Delivered on IBM Cloud